



泊山っ子だより



<http://www.yokkaichi.ed.jp/~tomari/cms2/htdocs/>

☞ マラソン記録会 11/28

11月28日(木)に南部丘陵公園北ゾーン内コースにてマラソン記録会を実施しました。

小寒い中でしたが、子どもたちは顔を赤く染めながらもゴールを目指して走りきる姿が見られました。子どもたちは、試走の時の自分のタイムと比較することで自分の頑張りを振り返っていました。

ご声援ありがとうございました。



☞ 6年 租税教室 12/2

6年生が2日(月)に税金のしくみについて学びました。税金の集め方、その使われ方、税金がなければ社会はどうなってしまうのか?などDVDの映像やゲストティーチャーのお話真剣に聞き入っていました。

子どもたちが毎日使っている教科書の裏表紙には「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」と記されています。子どもたちも感じるどころがあったものと思います。



☞ めざす学校の姿・・・「泊山っ子」にも改めて伝えたい!

全校児童と先生方とで「笑顔と優しさのあふれる学校」を目指しています。



四日市市立泊山小学校 2019

めざす学校の姿

笑顔と優しさのあふれる学校

あ

い

ど

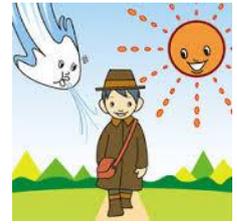
る

あいさつ

努力

止まる・止める

ぐうわ イソップ寓話「北風と太陽」の教訓



12月に入りました。寒くなってまいりました。北風を感じ、イソップの「北風と太陽」の話を思い出しました。その教訓とは・・・！？
あらすじを紹介しますと・・・

ある日のこと、北風と太陽が力自慢をしていました。
北風は、どんなものでも簡単に吹き飛ばすことができ、世界一強い、と言いました。それを聞いた太陽は、どちらが世界一強いのか力くらべをしようと言いました。2人は、目の前を歩いている旅人の着ている服を脱がせた方が勝ちという勝負をすることにしました。
北風は旅人の服を吹き飛ばそうと思い、力いっぱい風を吹きかけました。しかし旅人の服は脱げませんでした。それどころか、旅人は風に飛ばされないように服をしっかりと押さえ、さらに寒がってコートを着てしまったのです。
今度は太陽の番です。
太陽は力いっぱい輝き始め、陽を照らしました。すると先ほどまで寒かったその場所は、だんだん温かくなってきたのです。やがて、旅人は着ている服を脱いでしまいました。
それを見た北風は、何でも力だけで解決しようとしていたことを反省し、力自慢をすることはなくなりました。



↳ (教訓) 手っ取り早く乱暴に物事を片付けてしまおうとするよりも、
ゆっくり着実に進む方が、最終的に大きな効果を得ることができる。
しかし、この物語には、また別の話があり、それは、北風と太陽がした最初の勝負は、
旅人の帽子をとることだったということです。

最初、太陽は燦々と旅人を照り付けると、旅人はあまりにも強い日差しで帽子をしっかりとかぶり、決して脱ぎませんでした。
そして、次に北風が力いっぱい吹くと、見事一瞬にして簡単に帽子は吹き飛ばしてしまいました。
その次に行った勝負は、旅人の上着を脱がす勝負となり、この勝負の結果は周知の通りです。

↳ (教訓) 「何事にも適切な手段が必要である」ということです。
一方でうまくいったからといって、他方でもうまくいくとは限らないし、
その逆も然りです。

学校教育法 第42条【学校評価】・・・保護者アンケートありがとうございました。

「小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。」

この規定に基づき、学校自己評価の参考とするため、子どもたちや保護者の皆様にアンケートをお願いしております。集約結果を2月の学校通信にて報告させていただく予定です。上述の教訓ではありませんが、ゆっくりと着実に、且つ適切な手段で学校教育ビジョンの達成に向けて取組を続けていきます。

